

2022年度事業報告書

特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

【2022年度の活動の総括】

2022年度は、コロナ禍でありましたが、その合間を縫っての防災を伝えるための講演や、オンライン等を用い活動を行うことができました。皆さまもコロナ禍で大変な中、当団体を支えてくださり、まずは感謝申し上げます。

感染症対策をした上で、被災地支援の一貫で、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）、西日本豪雨（2018年）、2020年熊本豪雨等の被災地を訪問し、被災者の生活再建や地域の復興まちづくりの支援・調査研究活動を行いました。

また、昨年度同様に、オンラインを活用しながら、被災地やつなぎ手勉強会事業等を行いました。オンラインを用いることで、会場となる事務所のある神戸市だけでなく、広く全国から参加していただきました。

過去の震災復興まちづくり支援の経験から、発災前から防災に取り組み、対処方法を検討しておかなければ復興が遅くなることを学びました。そこで、防災や事前復興まちづくりの重要性を伝えるための活動も行っています。講演活動や防災まちづくりに携わる仲間を増やしていこうと、“被災地のつぶやき”のインターネット発信、勉強会の開催に加え、“災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～”のインターネット配信もしています。

各事業について下記で報告させていただきます。

団体設立から27年を迎えました。多くの方々に支えられ、活動を継続することができました。感謝いたします。

【事業報告】

まちづくり部門

●被災地復興支援事業

被災地を訪問し、復興まちづくりや支援者への情報提供の活動を行いました。

東日本大震災・2019年台風19号・福島県沖地震（宮城県、福島県）

[事業概要]

当団体では、東日本大震災以降、宮城県石巻市に常駐し、被災者の生活再建支援、復興まちづくり支援を行ってきました。発災3年目頃から、石巻市だけではなく、三陸沿岸部の地域とのネットワークを形成して、知見の交流をしてきました。2019年には、大規模な水害が宮城県の南部・北部で起こり、発災直後から、被害状況を把握しながら、情報の共有やネットワークづくりを行い、復興支援をしています。

[2022年度の活動]

2022年度は福島県沖地震と東日本大震災、2019年台風19号の被災地（宮城県）、熊本地震、を3回（3月28日～29日、5月28日～29日、7月3日、8月4日～8日）訪問しました。

復興まちづくりの現場やその後の地域づくりを支える NPO 団体等を訪問し、復興期に被災地でどのように活動をしていくのかについて情報交換しました。復興まちづくりに詳しい学識経験者にも同行していただきました。



▲3月28日 岡山県倉敷市真備町の被災者宅



▲8月6日 宮城県石巻市雄勝町市街地の高台

●地域まちづくり支援事業

[事業概要]

当団体は、阪神・淡路大震災後の火災により地区の8割が被害を受けた神戸市長田区御蔵地区の地域再生支援に取り組み、現在も事務所を置いています。御蔵地区での活動を続けるとともに、平常時のまちづくり支援も行っています。

[2022年度の活動]

2022年度は、御蔵北公園で震災以降、規模や形を変えながらも続けている阪神・淡路大震災の慰霊法要の開催支援を、十分な感染症対策で行いました。

また NPO 活動に関わる方が、組織を継続運営していくための相談に来られました。当団体がこれまでの活動で培ったノウハウを伝え、アドバイスしました。

事前復興まちづくり

[事業概要]

これまでの復興まちづくり支援の経験から、災害が起こってから初めてスタートさせる復興まちづくりでは限界があると確信し、2016年度より、事前復興まちづくりへも取り組みを始めました。日本各地へ講師として出向き、備えの大切さや、災害後の地域づくりのポイントを伝えています。

[2022年度の活動]

今年度は、事前の備えをテーマに講演会を行いました。

●まちづくり研究調査事業

[事業概要]

震災復興などの関する自主調査を実施するほか、研究者や学生の現地調査のコーディネーター、関東都市学会からの作業の受託などを行っています。

[2022年度の活動]

被災者の小さな声を聞き、支援者につなげてきた「つなぎ手」の発掘・発信して共有するプロジェクトを通じて、これまでの被災地支援の経験を活かし「社会的孤立を起こさないために、人と人の繋がりづくり」を促進に貢献しようと注力しました。

大学生のインターンシップを受け入れ、つなぎ手について一緒に学びました。

大学生や学識経験者を、現地（神戸市、兵庫県）で受け入れました。また、コロナ禍により遠隔になりましたが、様々な被災地への調査・視察コーディネーターや支援を行いました。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等、復興まちづくりの現場で行われていることを知っていただく機会となりました。

関東都市学会からニュース及び年報の発送作業と会費請求作業を受託し、2月、5月、8月、11月に発送。6月には、年報の発送も行いました。

学びの場づくり部門

●震災体験学習事業

[事業概要]

阪神・淡路大震災の教訓を次の世代に伝えようと、震災を体験した語り部有志の皆様ともに中高生への震災体験学習を行っています。

[2022年度の活動]

2022年度は、4月8日に流山市立おおたかの森高校（生徒38名、先生2名）の震災体験学習を実施しました。

●研修受入事業

[事業概要]

まちづくりから学んだことを伝えるため、各種団体の視察・研修受入を行っています。受入場所は、神戸市長田区御蔵通・東日本被災地等です。

[2022年度の活動]

2022年度は、下記のとおり4件の研修を受け入れました。視察者の防災力向上を目指し、兵庫県にて被災地の現状と復興まちづくりについて伝えました。

<2022年度研修受け入れ状況>

日	受講者（主催者）	テーマ・目的	人数
5/2	神戸大学	まちづくり論	16
5/27	関西大学	神戸市長田区の復興状況	6
7/29	公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所	阪神・淡路大震災は「まち」をどう変えたか	8
8/13	長田高校	阪神・淡路大震災からの復興まちづくり	6



▲ 関西大学



▲ 神戸大学

●講師派遣事業

[事業概要]

『防災』や『災害後の地域づくり』の講演を行っています。テーマは、防災、避難、避難所、要援護者支援、地域づくり等で、人と人の繋がりを活かした解決方法を伝えています。主な対象者は、自治体、企業、大学、学校、自主防災会、町内会等各種団体です。長年の災害復興まちづくり支援の経験や調査・研究を基に、講演内容を組み立てています。

[2022年度の活動]

2022年度は下記のとおり4件の講師派遣をいたしました。防災や復興まちづくりの大切さを伝えました。

<2022年度 講師・パネリスト 派遣実績>

日	主催者（場所）	講演テーマ	講師等	受講者数
---	---------	-------	-----	------

4/18	西宮さくら FM ラジオ	熊本地震から 6 年	宮定	—
4/28	神戸大学	まちづくり論	宮定	30
7/15	兵庫県立舞子高校	阪神・淡路大震災後のまちづくり	宮定	40
12/14	ひょうごコミュニティ財団	多様な寄付の受け入れ方	戸田	14



▲ ひょうごコミュニティ財団

●まちづくり勉強会事業

[事業概要]

各地の災害や、災害発生後の課題などをテーマにした勉強会を、当団体の主催で開催しています。

[2022 年度の活動]

■被災地勉強会

震災復興まちづくりの教訓や経験を今後の災害に活かそうと、オンライン勉強会を 3 回行いました。全国から受講者が参加されました。また、録画を Web にアップすることでいつでも視聴できるようにしました。学生には無料公開し、学びの場を提供しています。

<2022 年度 被災地勉強会 開催実績>

日	内容	テーマ	講師	受講者数
3/21	オンライン勉強会	震災と復興事業が津波被災地出身の若者のライフコースに与えた影響—宮城県石巻市雄勝町との関係性において—	阿部晃成氏（慶應義塾大学大学院修士課程 2 年、雄勝町の雄勝地区を考える会）	20
3/23	オンライン勉強会	「復興」に関わる意義～復興に関わった人たちの苦闘への処方箋～東日本大震災 11 年仙台市南蒲生地区の事例から～	小林秀行氏（明治大学情報コミュニケーション学部 准教授）	17
4/14	オンライン	熊本地震から 6 年 復興まちづ	小多崇氏（熊本日日新	26

	ン勉強会	くりは今～熊本地震から見えた “ほころび” 地域の可能性を考 える～	聞社 東京支社編集部 長兼論説委員)	
--	------	--	-----------------------	--

■つなぎ手勉強会

<2022 年度 つなぎ手勉強会 開催実績>

日	内容	テーマ	講師	受講者数
1/6	オンライン勉強会	災害時の支え合い～ 被災者宅を訪問し支 援に繋げる災害支援 団体から学ぶ～	江崎太郎氏（特定非営利活動法人 YNF 代表理事）	9
4/10	オンライン勉強会	災害時、ひとり一人を 取り残さない地域社 会づくりへ貢献する “被災者と伴走する つなぎ手”	室崎益輝氏（神戸大学名誉教授、 NPO 法人日本防災士会 理事長）、 菅野由香理氏（地域支援団体 ConnectFeelings 代表）	49
4/27	オンライン勉強会	専門家と地域を結ん で得たつなぎ手視点 ～気仙沼市「まちづ くり支援総合マネジ メント事業」の経験か ら～	塚本卓氏（一般社団法人 気仙沼 まちづくり支援センター 代表理 事）	20
5/17	オンライン勉強会	様々な課題当事者が 社会的に包摂され、 多様性が尊重され、 人や組織がつながり 共に行動する市民社 会をつくる“つなぎ 手”～ 常総水害 (2015 年) で被害を 受けた茨城県常総市 の経験から～	横田能洋氏（認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ 代表理 事）	11
5/26	オンライン勉強会	「ここで暮らし続け る」希望を持てる地域 づくりの“つなぎ手” ～鳥取県西部地震 (2000 年) で被害を 受けた鳥取県日野町 の経験から～	山下弘彦氏（日野ボランティア・ネ ットワーク（ひのぼらねっと）代 表）	9
6/21	オンライ	被災者を専門家へ結	阿部知幸氏（NPO 法人フードバン	13

	ン勉強会	ぶ仕組みづくりから学んだ“つなぎ手”視点～平成 28 年台風 10 号災害 岩泉町における岩泉よりそい・みらいネットの取り組みから～	ク岩手 副理事長・事務局長、3.11 から未来の災害復興制度を提案する会 代表)	
6/24	オンライン勉強会	地域と一緒に歩く“つなぎ手”～西日本豪雨(2018年)で被災した真備町(岡山県倉敷市)の経験から～	楨原聡美氏(川辺復興プロジェクト「あるく」代表)	17
7/13	オンライン勉強会	介護保険事業と NPO 法人事業から見えてきた“つなぎ手”視点～令和 2 年 7 月豪雨を経験しての再認識～	一川大輔氏(有限会社美里住宅支援事業所 取締役専務/NPO 法人みさと理事)	10
7/20	オンライン勉強会	集落再生に取り組む中で得た“つなぎ手”視点～新潟県中越地震、熊本地震、令和 2 年 7 月豪雨の経験から～	佐々木 康彦氏(NPO 法人故郷復興熊本研究所理事長)	11
8/24	オンライン勉強会	災害後の地域づくりへわからないけど関わるからことから少しづつ住民と行政で得た“つなぎ手”視点～熊本地震益城町の復興まちづくり経験から～	古荘直樹氏(櫛島地区まちづくり協議会(熊本県益城町) 会長) 宮田有佳氏(益城町役場企画財政課 復興企画係主査(元復興整備課復興まちづくり係))	13
9/2	オンライン勉強会	日々の生活を楽しむ場づくりから地域との繋がりを得た“つなぎ手”視点～熊本豪雨災害の救援物資の配布の経験から～	園田富巳子氏(個庫茶屋(熊本県人吉市))	7
9/27	オンライン	食を通じた地域づく	本田 節氏(農村レストラン ひま	10

	ン勉強会	りで得た“つなぎ手” 視点～熊本地震への 支援、令和2年7月 豪雨の経験から～	わり亭 代表、内閣府 地域活性化 伝道師)	
11/7	オンライン 勉強会	民間発災害ケースマ ネジメント～東日本 大震災 石巻市での在 宅被災者との出会い から～	伊藤 健哉氏（一般社団法人 チー ム王冠代表）	11
11/30	オンライン 勉強会	カーシェアリングを 通じたつながりづく り～東日本大震災か ら始まり、他の被災地 へも広がった活動の 経験から～	吉澤武彦氏（一般社団法人 日本カ ーシェアリング協会）	8
12/14	オンライン 勉強会	一人ひとりの課題と つながる～平成30年 北海道胆振東部地震 での実践から～	小山敏史氏（厚真町 まちづくり 推進課 復興推進グループ）	8

<2022 年度勉強会 無料公開 開催実績>

日	内容	テーマ	講師	受講者数
1/15 ～17	オンデマンド 勉強会無料公 開（阪神・淡路 大震災27年）	被災者の尊厳を守る お金の話～震災当時の 神戸支店長として～	遠藤勝裕氏（元日本銀行神 戸支店長）	17
1/15 ～17	オンデマンド 勉強会無料公 開（阪神・淡路 大震災27年）	被災者の尊厳を守る 大震災25年 共助と協 働のこれから	講師：室崎益輝氏（兵庫県 立大学減災復興政策研究 科科长）	29
1/21 ～23	オンデマンド 勉強会無料公 開（阪神・淡路 大震災27年）	被災者の尊厳を守る 「災害ケースマネジメ ント」	津久井進氏（弁護士・日本 弁護士連合会災害復興支 援委員会委員長）	52
2/11 ～13	オンデマンド 勉強会無料公 開（阪神・淡路 大震災27年）	被災者の尊厳を守る 「復興まちづくり支援 の思想とプランニン グ」	野崎隆一氏（神戸まちづく り研究所理事長）	23
2/19 ～20	おうちで防災 の勉強！講演	豪雨水害の被災地から ～熊本県球磨川流域の	柴田祐氏（熊本県立大学環 境共生学部 教授）	13

	会動画無料公開	状況～		
2/26 ～27	おうちで防災の勉強！講演会動画無料公開	令和2年7月豪雨の被災地の現状と課題～福岡県大牟田市・久留米市に関わる外部支援者の立場から～	江崎太郎氏（特定非営利活動法人YNF代表理事） 【解説（録画）】津久井進氏（弁護士・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長）	7
3/4～ 6	おうちで防災の勉強！講演会動画無料公開	災害時の支え合い～令和3年8月佐賀県豪雨災害の住民・ボランティアの取り組みから学ぶ～	鈴木隆太氏（一般社団法人おもやい 代表理事）	7

交流の場づくり部門

●地域間交流事業

[事業概要]

2004年の台風23号で出石川が決壊し、被害にあった兵庫県豊岡市出石町鳥居地区。当団体は2005年2月より、被害を受けた市民農園予定地（3,000平方メートル）を借り、農作業に取り組みました。2007年3月に市民農園がオープンした後も、地域住民や農園利用者等とともに資源を発掘し、生かし、復興活動だけで終わることなく、地域活性化のために工夫しながら「コミュニティの持続的な発展を支援すること」を目標に取り組みました。

[2022年度の活動]

昨年度で畑を耕しての支援は終了しましたが、兵庫県豊岡市出石町鳥居地区を拠点に事業を行っている「暮らしの学校 農楽（の～ら）」が作った野菜のセットを当団体のメールニュースで紹介し、購入を呼びかけました。売上の一部は、当団体へご寄付くださいました。

●国際交流事業

[事業概要]

阪神・淡路大震災（1995年）と台湾集集大地震（1999年）の交流から始まった当団体の国際交流事業。台湾だけでなく、アメリカ、インドネシア、中国、韓国等々、様々な国の方々と、災害からの復興や、地域づくりで交流をしています。

[2022年度の活動]

2022年度はコロナ禍のため、実施できませんでした。

情報発信部門

●情報発信事業

[事業概要]

当団体では、阪神・淡路大震災当初から、被災地の状況を伝えるため、積極的に情報発信を行ってきました。最初は機関紙から始まり、メール、ホームページ、SNS と時代に合わせた媒体を使いながら、常に情報発信をしています。最近では、防災や復興まちづくりについての情報発信を積極的に行っています。また、人が集う場に参加し、被災地の復興まちづくりやまち・コミの活動について伝えるとともに、マスコミや各種団体の取材等にも対応しています。

[2022 年度の活動]

① 季刊まち・コミ

4号、各号6ページの通信誌を発行しました。会員や寄付者のほか、事務所の来客等に配布いたしました。

<2022 年度季刊まち・コミ一覧>

号	発行日	特集タイトル	郵送数
春号	3/3	2021 年度 活動のご報告	337
夏号	6/9	つなぎ手発掘・発信プロジェクト始動 ～災害時、ひとり一人を取り残さない地域社会づくりへ 貢献する～	344
秋号	10/3	ひとりも見落とさない支援を担う 「つなぎ手」	342
冬号	12/6	つなぎ手発掘・発信プロジェクト 進捗状況報告	347

② WEB まち・コミ <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

「季刊まち・コミ」のPDFデータ版、2021 年度活動報告、2021 年度計算書類等、新規情報をアップしました。

③ まち・コミブログ・フェイスブック

日々の活動を中心に、活動を報告しています。2022 年度はフェイスブックを中心に、日々の活動の記事を 28 本アップしました。

④ まち・コミメールニュース

5 通のメールニュースを送信しました。

<2022 年度メールニュース一覧>

送信日	内容	送信数
3/4・5・6・8	オンライン勉強会・シンポジウムのご案内 ほか	6124
3/18・20・21・ 23	オンライン勉強会（新規）と、徳島県沖地震で被災された方への情報	6121
4/16・17・18・ 19	連続オンライン勉強会の予定と、ラジオ出演情報 ほか	6147
6/15・17・18・	連続オンライン勉強会のご案内、季刊まち・コミ WEB アップ	6162

19・20	ほか	
7/7・8・9・10・11	寄付付き有機無農薬野菜セットの販売、連続勉強会ほか	6155

ニュース以外にも “テーマ毎（勉強会・講演会）に興味のありそうな方”、“開催場所に近い方”、“学生を誘ってくださる先生” 等、対象を絞って情報発信しました。

⑤ 被災地のつぶやき

インターネットで、被災者の声を毎日発信しています。Twitter のフォロワー数は約 2545、フェイスブックのいいね！の人数は約 2015 人です。

⑥ 災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～

インターネットで、防災に役立つ情報を発信しています。Twitter のフォロワー数は、約 630 です。

【事業実施体制】

(1) 会議に関する事項

①通常総会

開催日 令和4年2月13日 午前11時00分から午前11時40分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 14名(うちWEB表決者6名、委任状出席5名)

議事内容 第1号議案 2021年度事業報告および2021年度決算報告承認の件
第2号議案 役員選任の件

②理事会

第1回

開催日 令和4年2月13日 午前9時00分から午前11時00分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 7名(うちWEB表決者3名、委任状出席1名)

議事内容 第1号議案 2021年度事業報告および2021年度決算報告承認の件
第2号議案 2022年度事業計画および2022年度活動予算承認の件

第2回

開催日 令和4年2月13日 午前12時55分から午後1時00分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 7名(うちWEB表決者2名、委任状出席2名)

議事内容 代表理事及び副代表理事選任の件

③役員会

・4月20日 19時から

・7月27日 19時から

④事務局会議 月1回 出席者：宮定章、戸田真由美

(2) 事務局体制

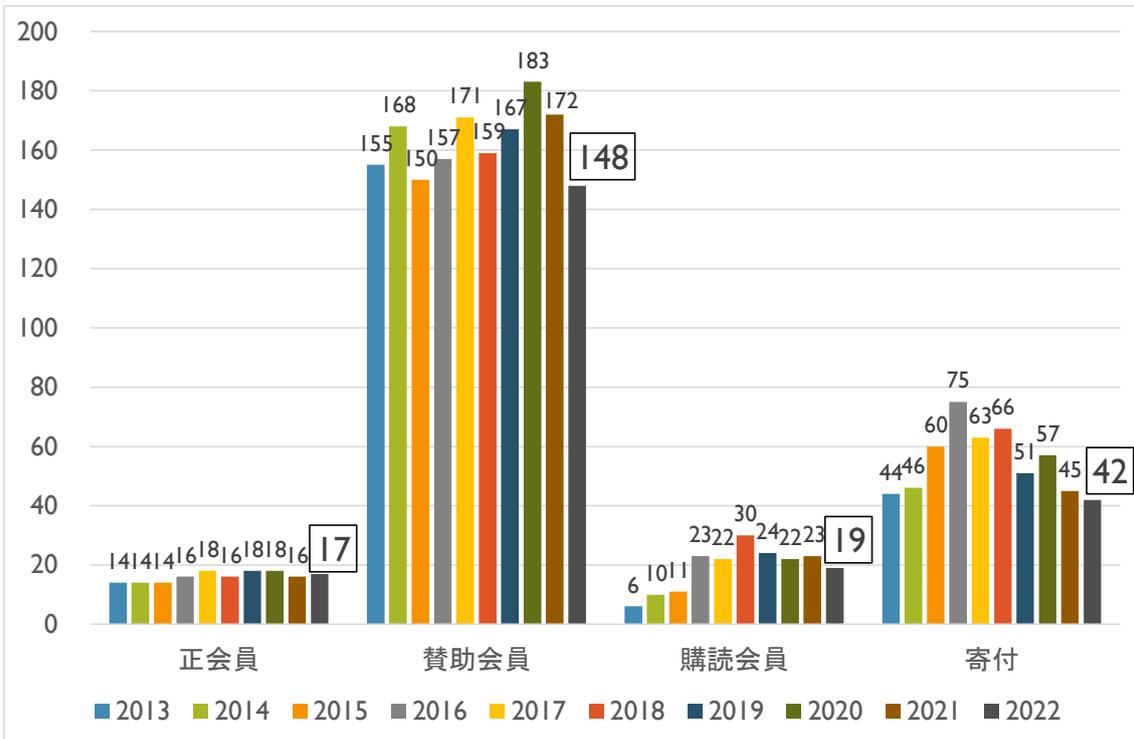
代表理事 宮定章 理事 戸田真由美

(3) 会員

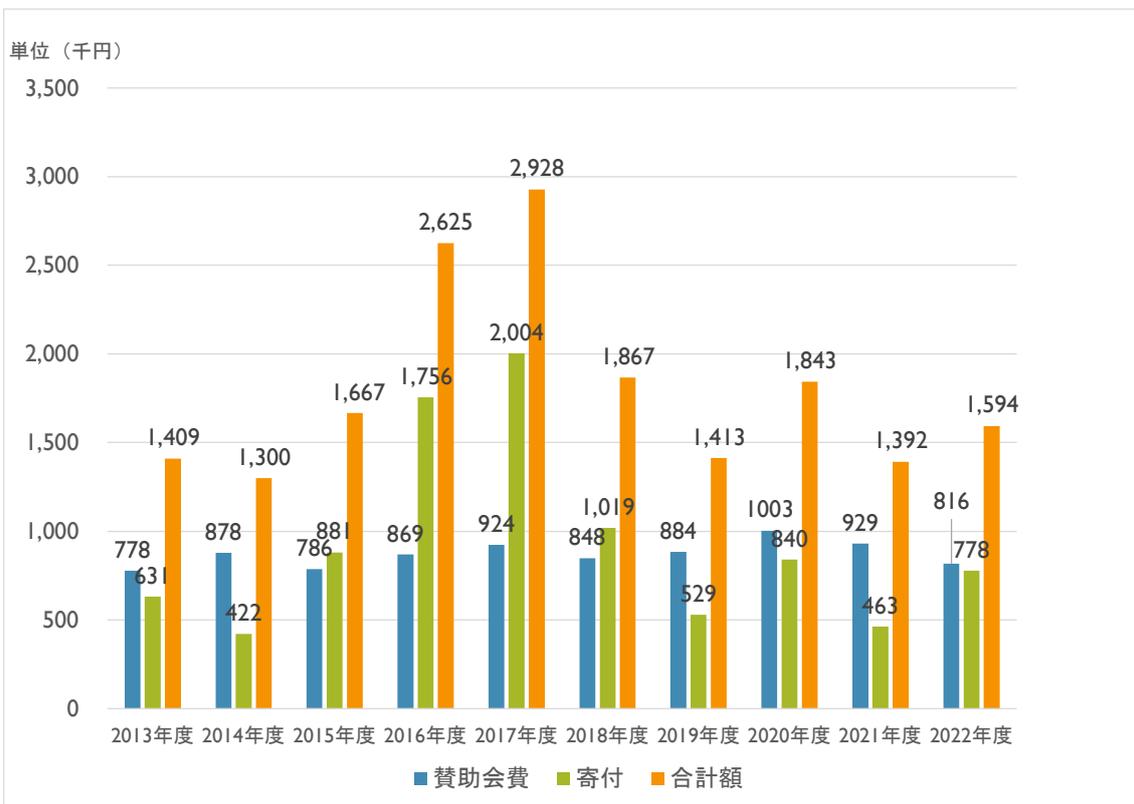
① 正会員 17名

② 賛助会員 148名

③ 購読会員 19名



▲ 会員・寄付者数の推移



▲ 寄付額（賛助会費＋寄付）の推移

感謝

認定NPO法人まち・コミュニケーション
寄附者分布図(海外除く)



【資料】

●執筆

1. ひとりも取り残さない在宅被災者支援に向けた災害ケースマネジメント (社会福祉法人徳島県社会福祉協議会 とくしま福祉広報「リプル」2022年10月)

[https://fukushi-tokushima.or.jp/app/wp-](https://fukushi-tokushima.or.jp/app/wp-content/uploads/2022/12/202211031119_compressed.pdf)

[content/uploads/2022/12/202211031119_compressed.pdf](https://fukushi-tokushima.or.jp/app/wp-content/uploads/2022/12/202211031119_compressed.pdf)